



ITmedia Inc.

平成27年3月期 第1四半期 決算説明資料

2014 年 7 月 28 日

アイティメディア株式会社

証券コード: 2148 東証マザーズ

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、資料作成時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、不確実な要素を含んでいます。実際の業績は、様々な要因及び業況の変化により、記載されている予想とは大きく異なる可能性があることをご了承ください。

当社の業績に影響を与えうる事項は「平成26年3月期 決算短信」の「事業等のリスク」に記載されておりますので、ご参照ください。ただし、業績に影響を与えうる要素は「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意ください。リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。

本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、その内容の正確性及び確実性を保証するものではないことをあらかじめご了承ください。

この資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

本資料及びデータの無断転用はご遠慮ください。



ITmedia Inc.

2014年度 第1四半期 業績概要

2014 年 7 月 28 日

アイティメディア株式会社

証券コード: 2148 東証マザーズ

2014年度 第1四半期 業績ハイライト

全社業績

○営業利益 前年比で約3倍
前期同様、第1四半期より黒字でスタート

○売上は前年比+3.7%増加
○総コストは前年並みで利益率が改善

○主な要因

売上面

- ・ 産業テクノロジー分野は前年比23.9%増収
 - IT&ビジネス分野は8.4%増収
 - コンシューマー分野は8.6%減収
- ・ 中期の会社方針に沿って商品構成が変化
 - ターゲティング型商品売上が前年比+20.4%
 - タイアップ型商品売上は前年比△6.8%
 - ディスプレイ型は前年同水準

	実績	前年比
売上高	640百万円	+3.7%
営業利益	31百万円	+207.5%
経常利益	32百万円	+187.5%
四半期純利益	10百万円	+17.8%

コスト面ほか

- ・ 総コストは前年並み
- ・ 「ONETOPI」のサービス終了の決定に伴い、特別損失22百万円を計上

2014年度 第1四半期 業績

(単位:百万円)

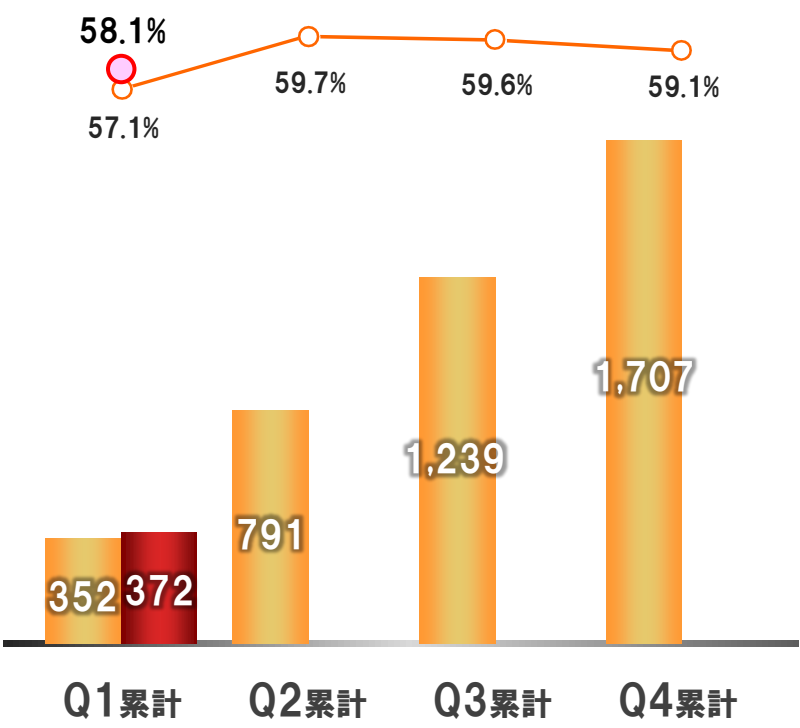
	前期(4~6月)		当期(4~6月)		増減率
	金額	売上比	金額	売上比	
売上高	617	100.0%	640	100.0%	+3.7%
売上原価	264	42.9%	268	41.9%	+1.3%
売上総利益	352	57.1%	372	58.1%	+5.5%
販売管理費	342	55.4%	340	53.1%	▲0.6%
営業利益	10	1.7%	31	5.0%	+207.5%
経常利益	11	1.8%	32	5.1%	+187.5%
四半期純利益	8	1.4%	10	1.6%	+17.8%
包括利益	7	1.2%	3	0.5%	▲45.2%

売上総利益・営業利益の推移(累計)

(単位:百万円)

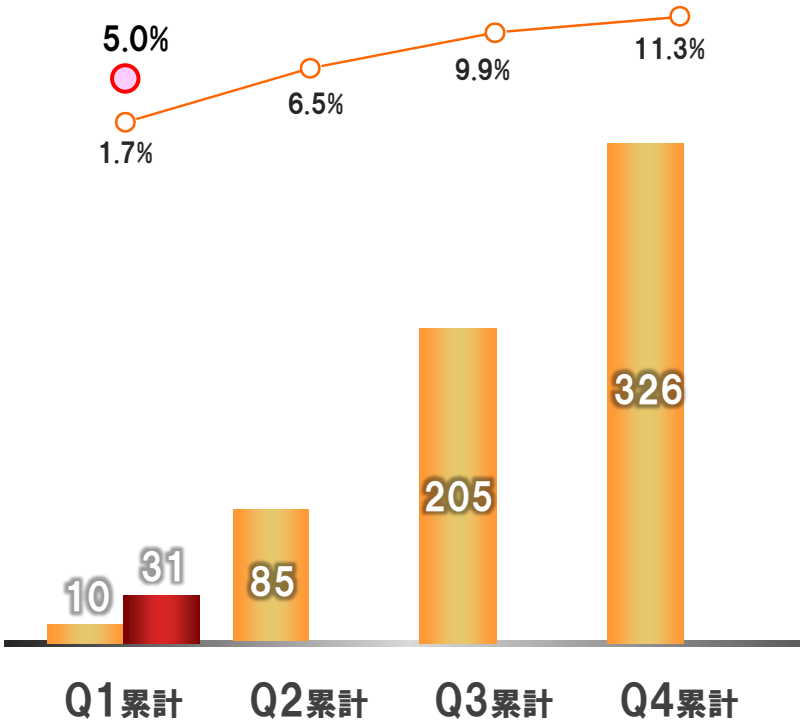
売上総利益・売上総利益率の推移

- 前期 売上総利益
- 当期 売上総利益
- 前期 売上総利益率
- 当期 売上総利益率



営業利益・営業利益率の推移

- 前期 営業利益
- 当期 営業利益
- 前期 営業利益率
- 当期 営業利益率

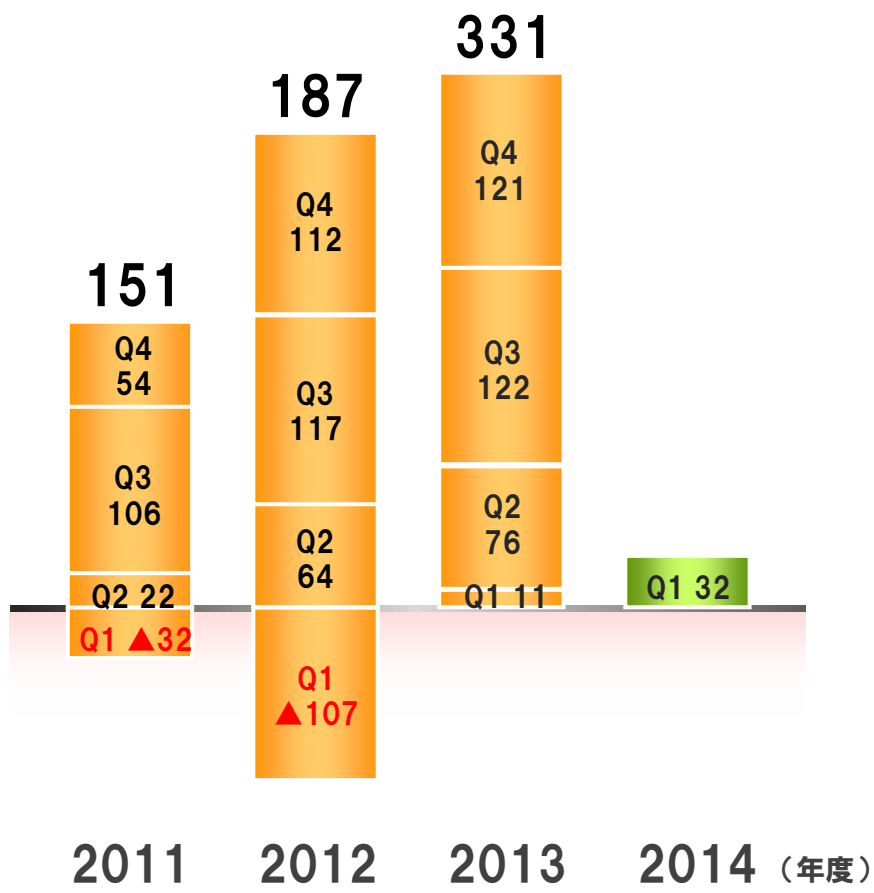
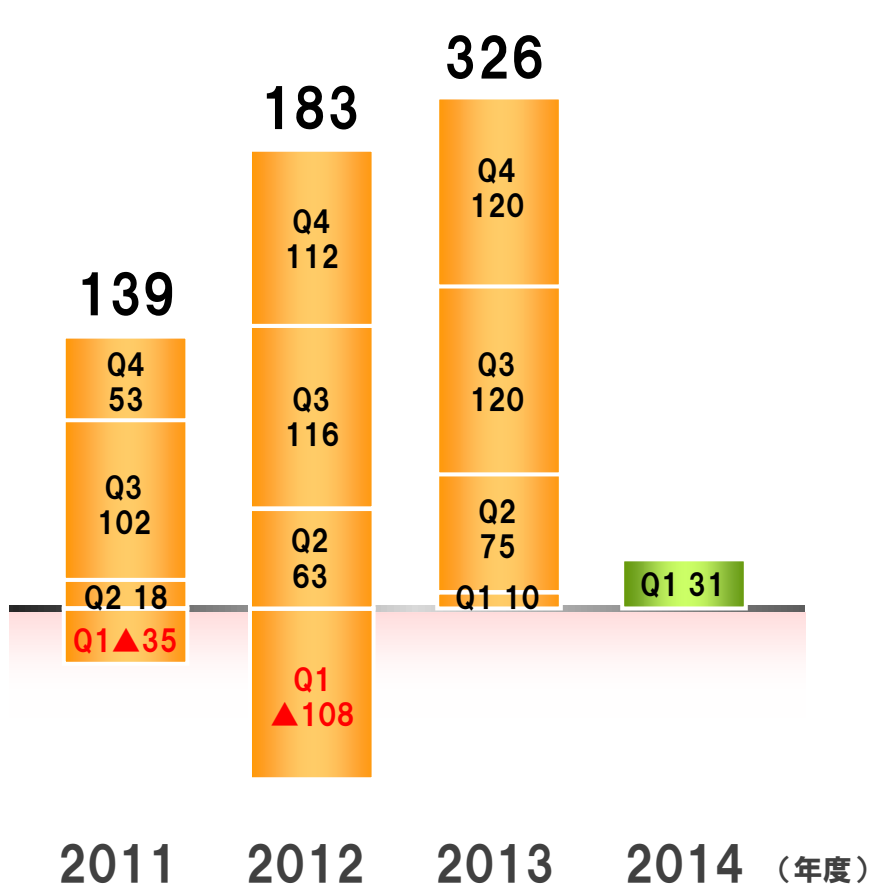


営業利益・経常利益の推移(累計)

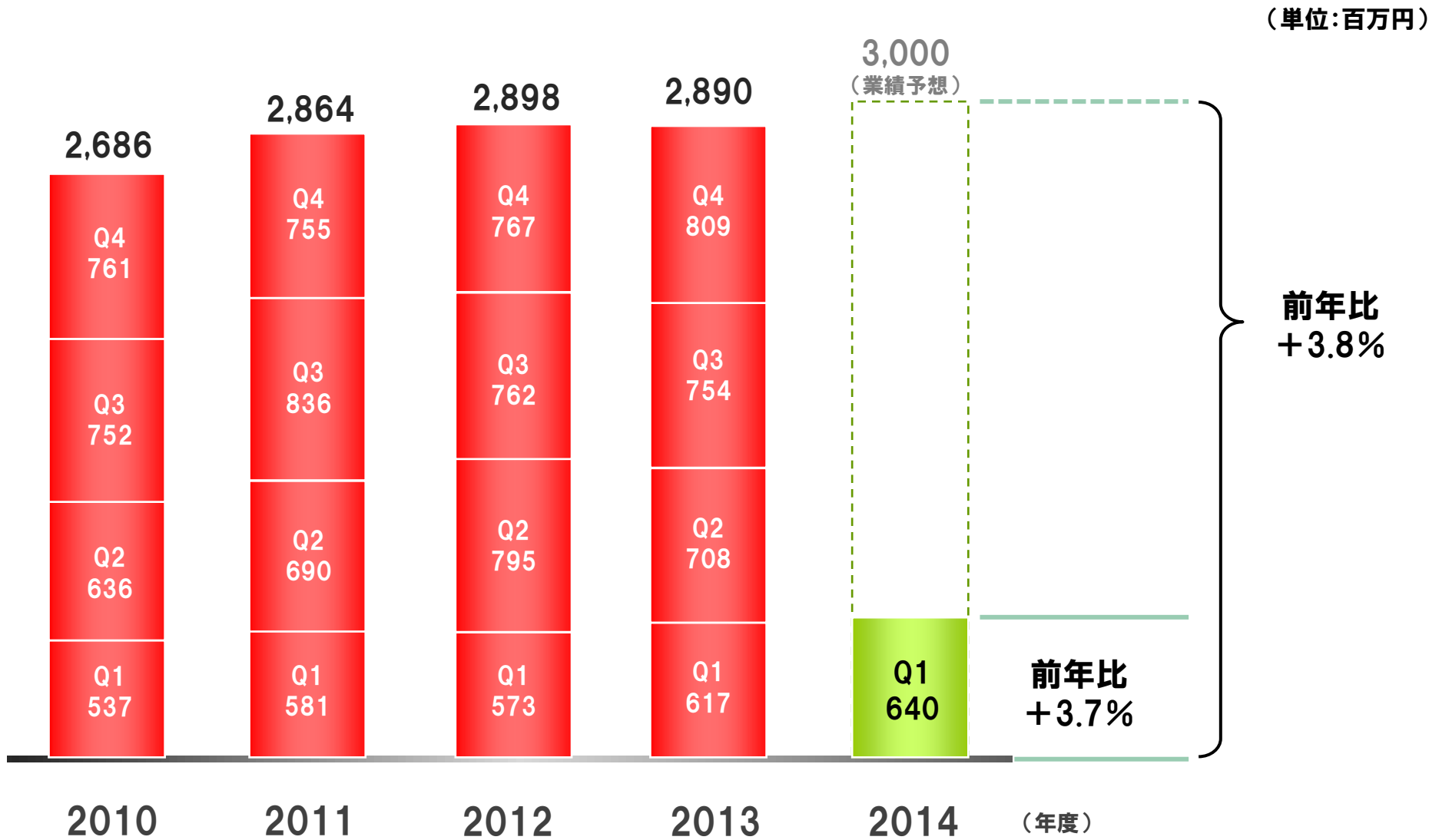
(単位:百万円)

営業利益 31百万円
前年比 +21百万円

経常利益 32百万円
前年比 +21百万円



売上高の推移

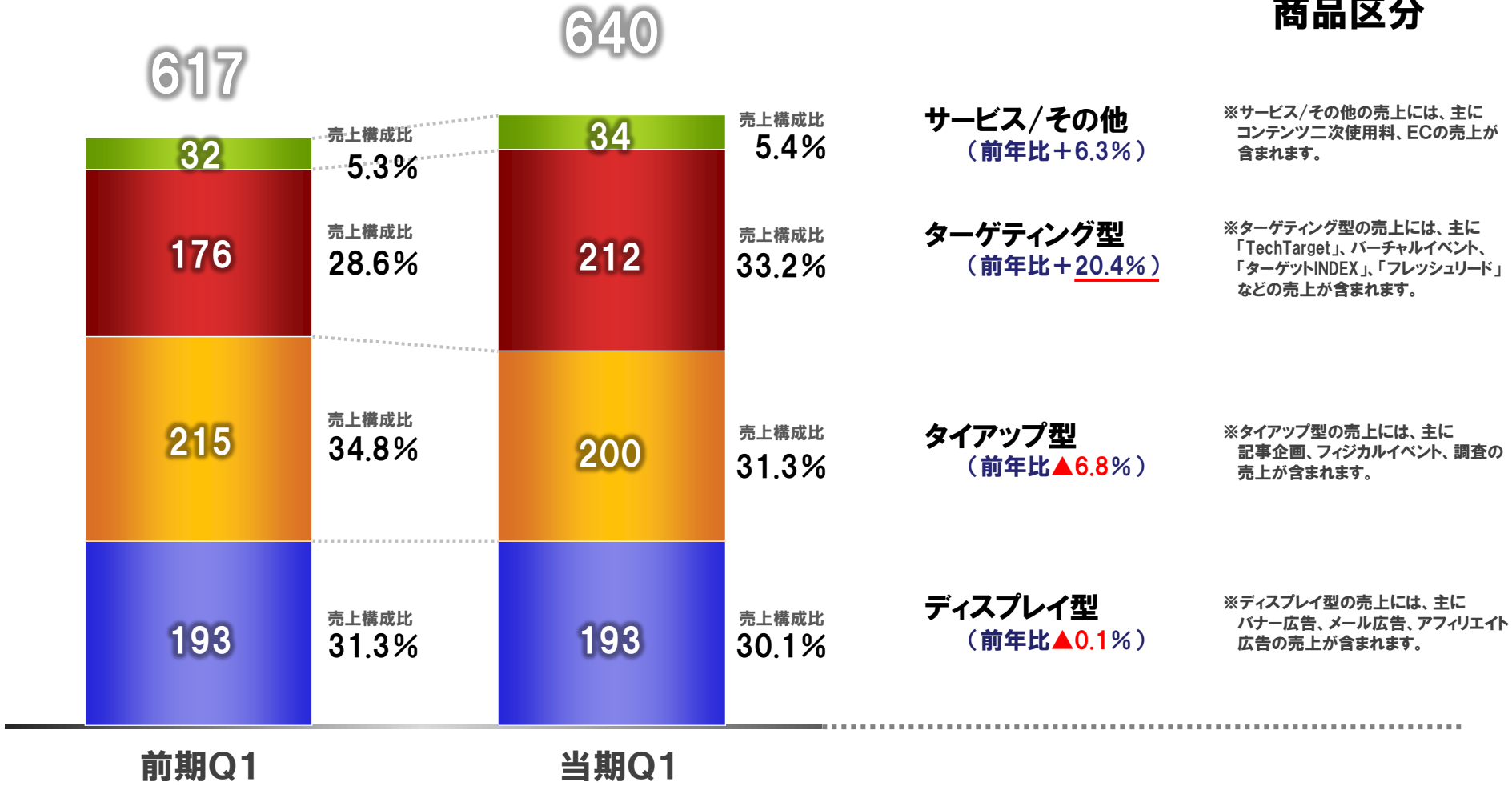


商品タイプ別 売上構成比率(前年比)

- サービス/その他売上
- ターゲティング型売上
- タイアップ型売上
- ディスプレイ型売上

(単位:百万円)

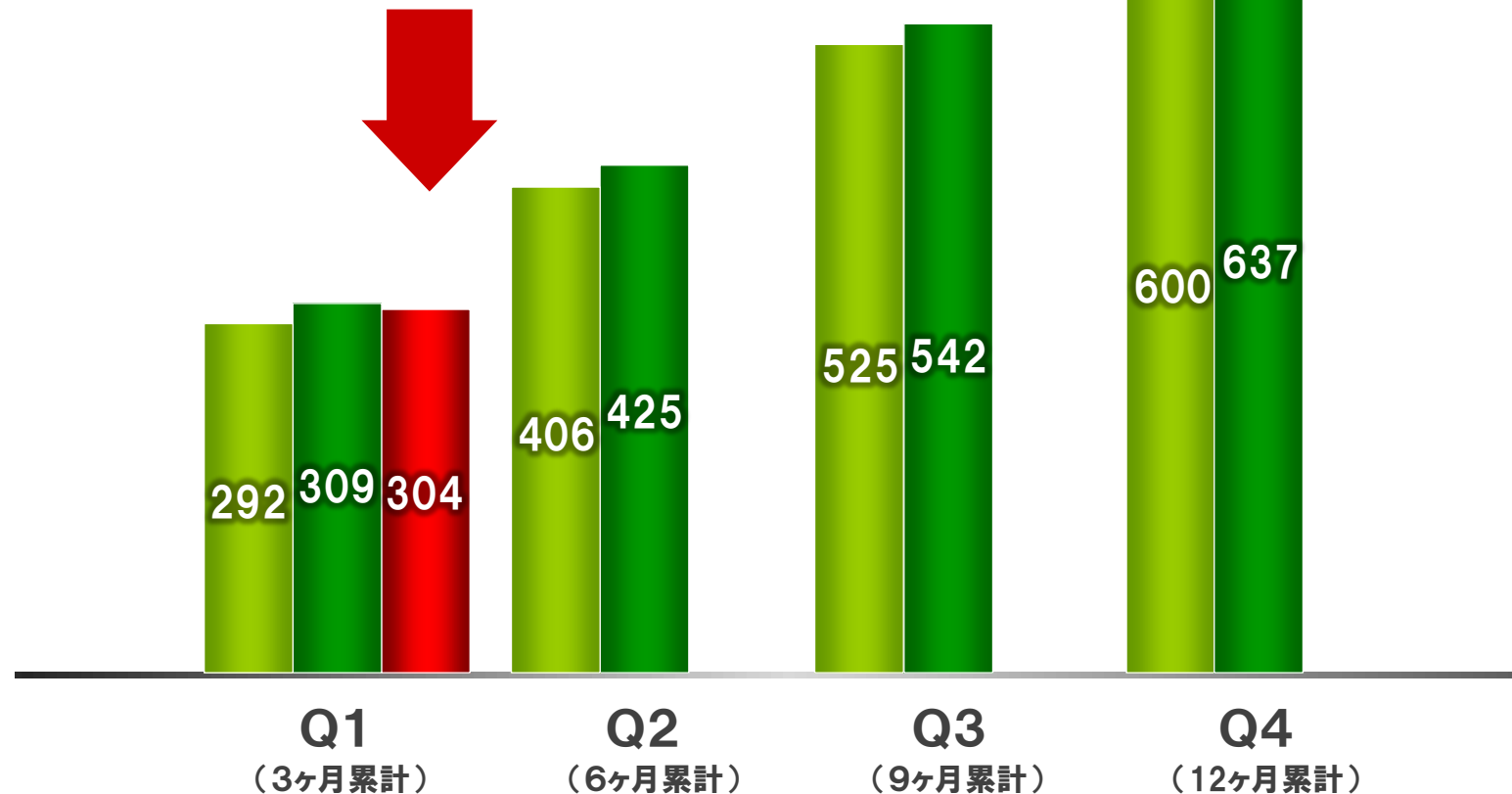
商品区分



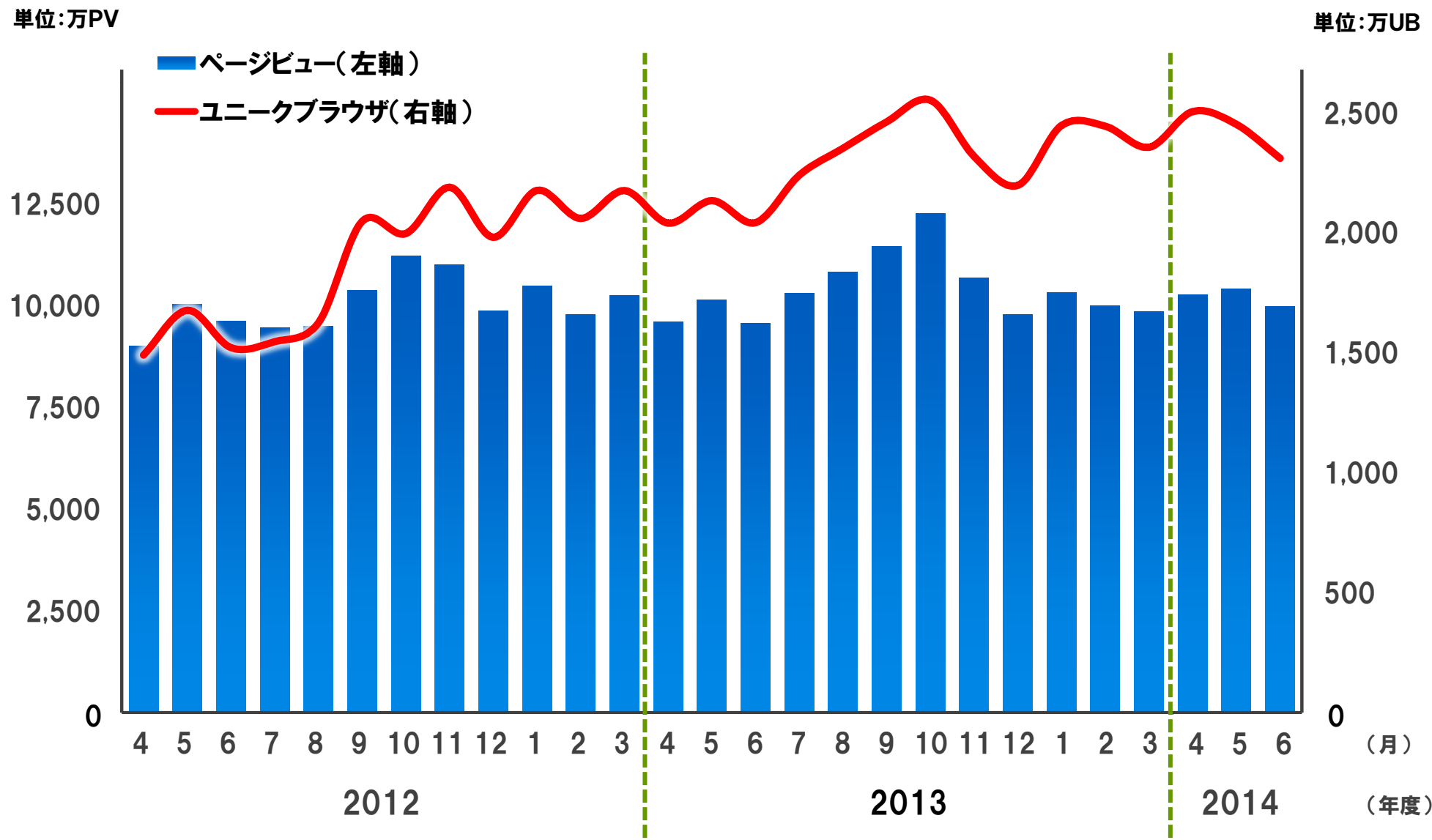
広告主数の推移

前年比 ▲1.6% (5社減)

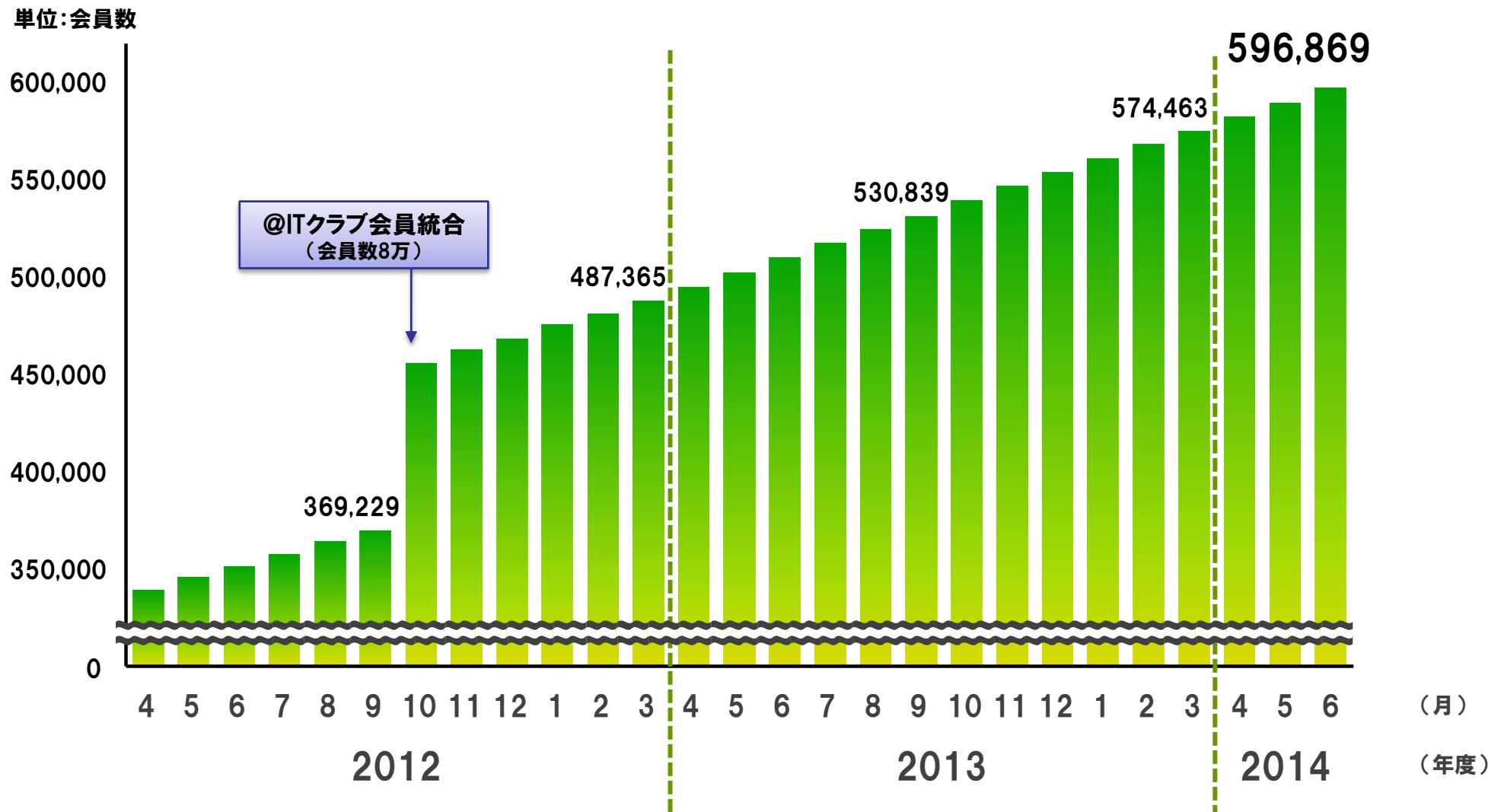
■ 2012年度
■ 2013年度
■ 2014年度



運営するメディアの規模

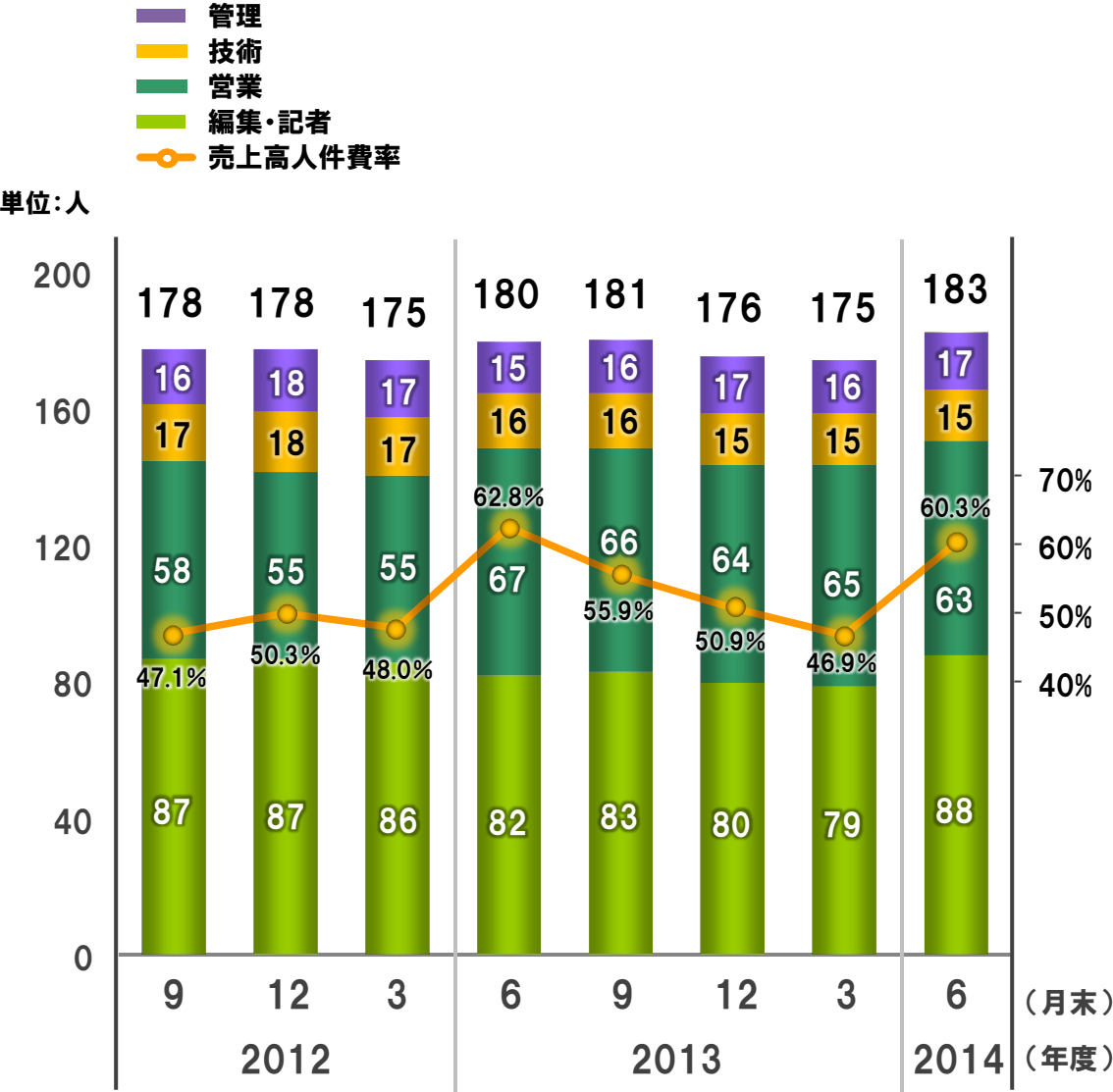


アイティメディアID延べ会員数推移



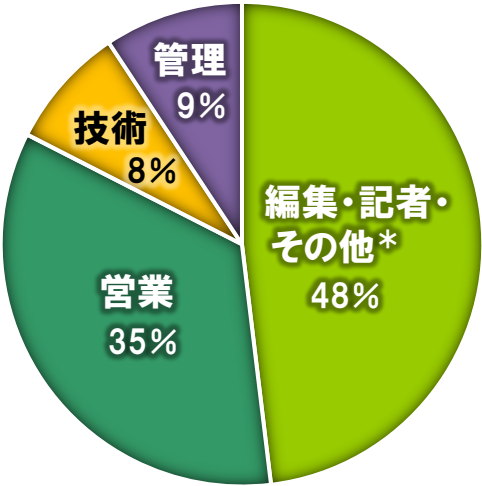
アイティメディアIDとは、当社が提供する会員登録制の各種サービスやコンテンツを利用するための当社の共通IDサービスです。
「PDF出力対応プリント」や「記事アラート」、各種メールマガジンなど、さまざまなサービスが1つのアカウントで利用できます。

従業員数の推移



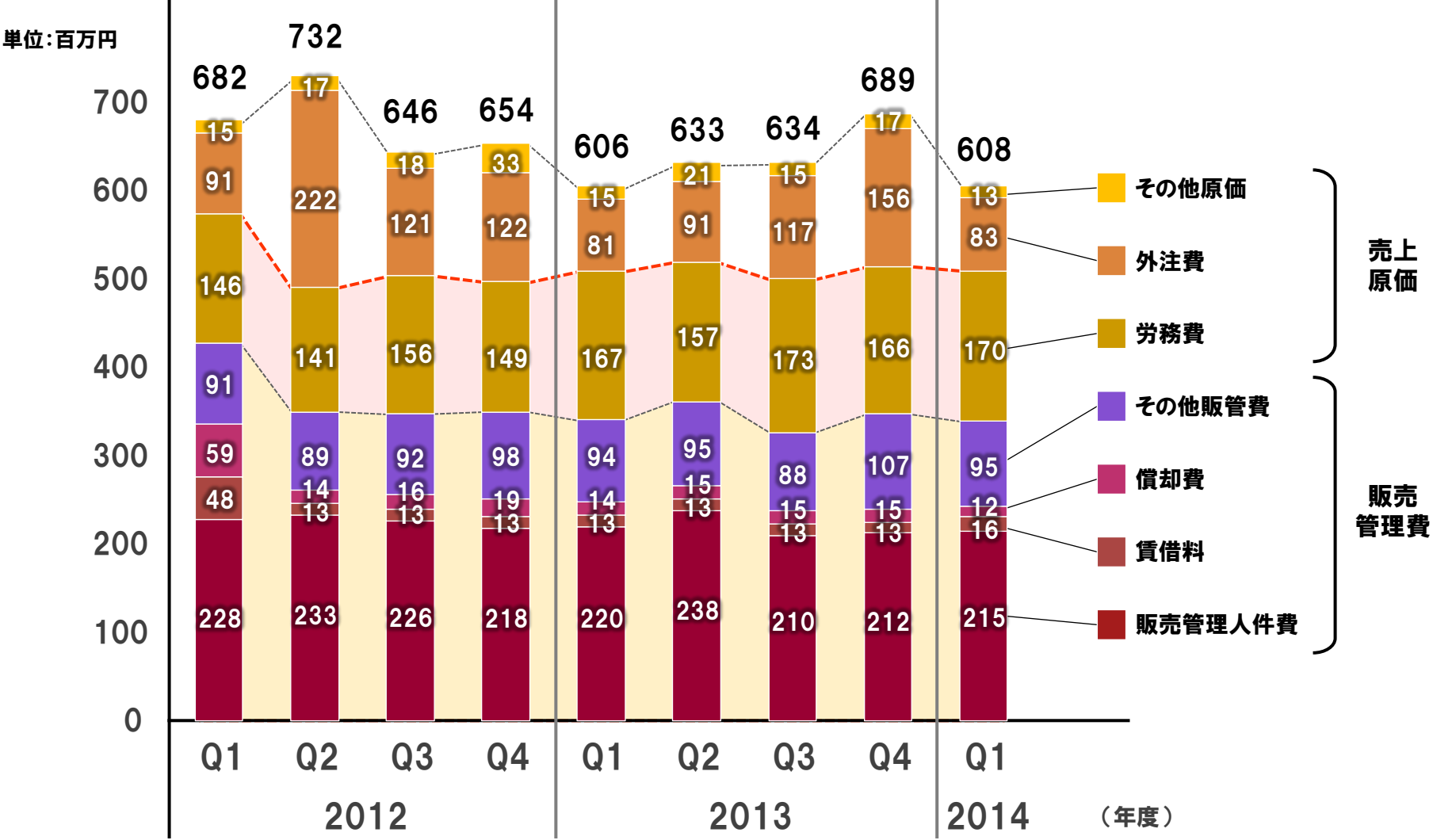
	人数	構成比	前年比増減率
編集・記者・その他*	88	48%	+7.3%
営業	63	35%	▲6.0%
技術	15	8%	▲6.3%
管理	17	9%	+13.3%
合計	183	100%	+1.7%

*デザイン、マーケティング要員を含みます。



注: 売上高人件費率= $\frac{【販管費】人件費 + 【原価】労務費}{売上高} \times 100$

売上原価、販管費の推移(四半期推移)



連結貸借対照表

	前連結会計年度 (2014年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2014年6月30日)	増減額 (単位:百万円)
流動資産合計	3,379	3,309	▲69
現金及び預金	1,867	2,027	+159
受取手形及び売掛金	557	400	▲157
有価証券	800	699	▲100
その他	153	181	+27
固定資産合計	887	851	▲35
有形固定資産	100	94	▲5
無形固定資産	142	117	▲25
投資その他の資産	644	639	▲5
資産合計	4,266	4,160	▲105
流動負債合計	319	236	▲82
支払手形及び買掛金	48	41	▲7
未払法人税等	37	3	▲33
賞与引当金	111	49	▲62
その他	121	142	+20
固定負債合計	29	28	▲0
負債合計	349	265	▲83
株主資本合計	3,950	3,935	▲15
資本金	1,638	1,638	-
資本剰余金	1,682	1,682	-
利益剰余金	673	658	▲15
自己株式	-44	-44	-
その他包括利益累計額	-57	-64	▲6
新株予約権	25	25	0
純資産合計	3,917	3,895	▲22
負債純資産合計	4,266	4,160	▲105

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	55	96
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲13	87
財務活動によるキャッシュ・フロー	0	▲24
現金及び現金同等物の増減額	42	159
現金及び現金同等物の期首残高	1,817	1,967
現金及び現金同等物の期末残高	1,860	2,127

セグメントおよびメディア分野

セグメント	メディア分野	主要なメディア・サービス	
メディア事業	IT & ビジネス分野	会員向けIT製品/サービス購買支援	TechTargetジャパン
		IT技術者向け専門情報	@IT、@IT自分戦略研究所 ほか
		企業向けIT業界関連ニュース	ITmedia ニュース、エンタープライズ
		企業向けデジタルマーケティング情報	ITmedia マーケティング
		ビジネスリーダーの会員制コミュニティ	ITmedia エグゼクティブ
		企業向けビジネス情報	Business Media 誠、誠 Biz.ID
	産業テクノロジー分野※	製造業技術者向け専門情報	MONOist
		エレクトロニクス技術者向け専門情報	EE Times Japan、EDN Japan
		企業向け節電・蓄電・発電情報サイト	スマートジャパン
	コンシューマー分野	デジタル関連機器情報	ITmedia Mobile、ITmedia PC USER ほか
		インターネット カルチャー情報	ねとらぼ
	その他	主要分野に含まれないメディア および スマートデバイス向けメディアの企画開発、メディアプラットフォーム事業の企画開発、動画広告の商品開発など	

2014年度 第1四半期 事業動向ハイライト

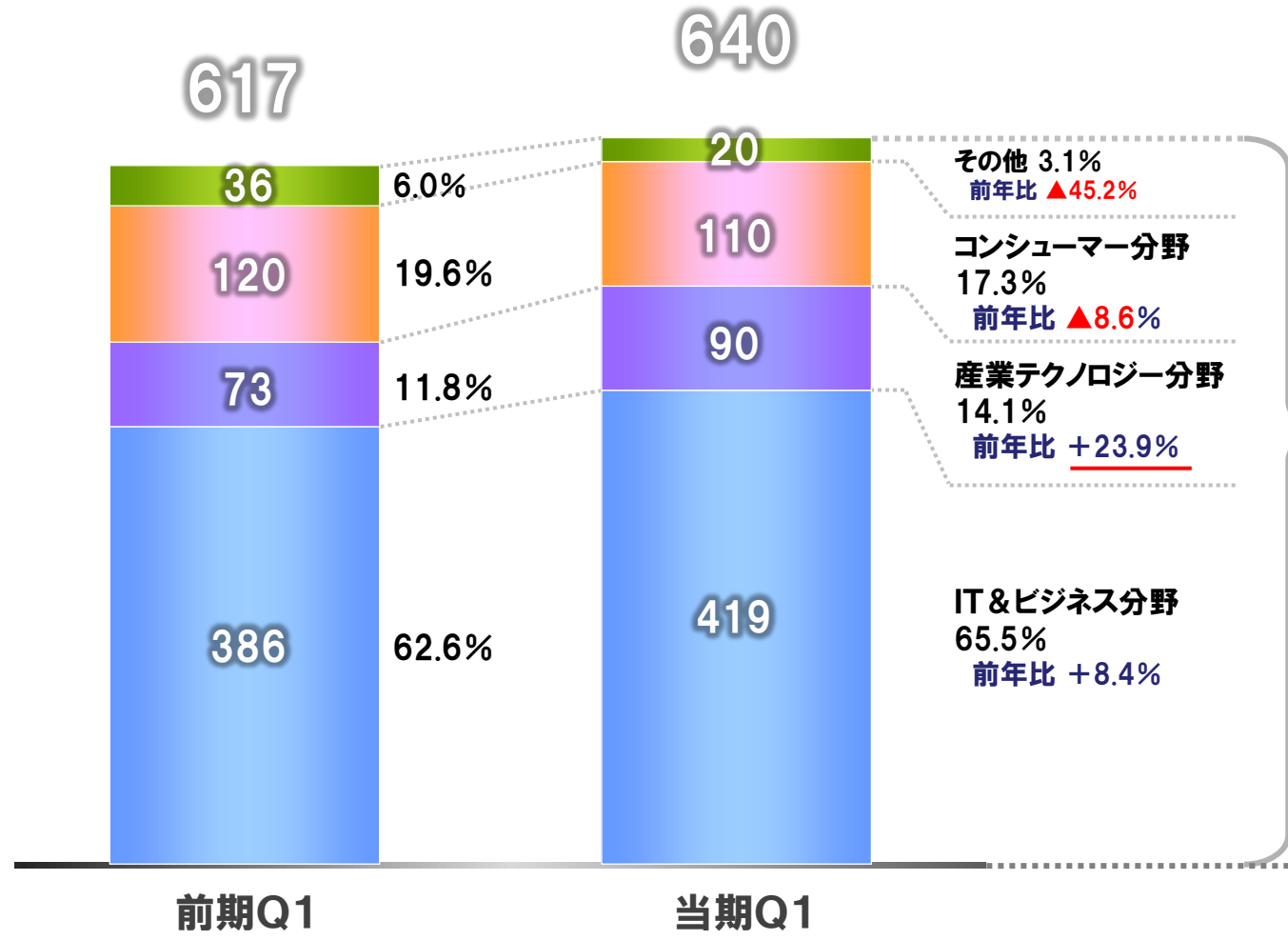
(単位:百万円)

事業動向	メディア分野	売上(前年比)	営業利益(前年比)
	売上、利益動向		
	IT & ビジネス分野	419(+8.4%)	67(+21)
	ターゲティング型商品の販売好調により増収		
	産業テクノロジー分野	90(+23.9%)	2(+4)
	メディア力の伸長により売上の高成長が継続。営業利益も黒字化		
	コンシューマー分野	110(▲8.6%)	▲9(▲18)
	デジタルガジェット関連のメディアの苦戦により減収減益。 「ねとらぼ」は好調にメディア力が成長		
	その他分野 (スマートメディアなど投資分野)	20(▲45.2%)	▲28(+14)
	一部の新規事業について、コストを抑制した結果、損失が改善		

分野別・売上構成比率(前年比)

(単位:百万円)

- その他
- コンシューマー分野
- 産業テクノロジー分野
- IT & ビジネス分野



商品タイプ別 売上構成比率(前年同期比)

商品区分	
サービス/その他 (前年比+6.3%)	34 5.4%
ターゲット型 (前年比+20.4%)	212 33.2%
タイアップ型 (前年比+6.8%)	200 31.3%
ディスプレイ型 (前年比+0.1%)	193 30.1%

注: サービス/その他は、主に「クラウド型」の売上増加による。ターゲット型は、主に「クラウド型」の売上増加による。タイアップ型は、主に「クラウド型」の売上増加による。ディスプレイ型は、主に「クラウド型」の売上増加による。

メディア事業
前年比 +3.7%

IT & ビジネス分野

◇ 2014年度 第1四半期の事業動向

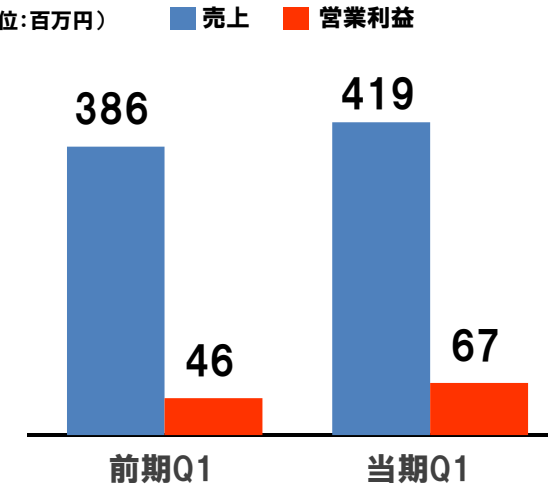
- ・ 前年比で増収増益
 - 売上: 前年比8%成長。ターゲティング型とディスプレイ型が好調
 - 営業利益: 売上総利益率の改善により、前年比46%増
- ・ ターゲティング型商品の成長が持続
 - 「TechTarget」売上: 前年比22%成長
 - ※「TechTarget」= 見込み顧客リスト提供型商品を提供するメディア
- ・ メディア・商品強化の施策
 - ビジネスメディア「誠」を事業移管し、企業の業務部門へのリーチ拡大
 - 「ビッグデータ」などITによる企業成長に関するコンテンツ強化

◇ 2014年度 第2四半期以降の施策

- ・ 前年比で増収増益を目指す
 - 広告主(ITベンダ)の広告出稿意欲は堅調
 - ターゲティング型商品の着実な成長を継続
- ・ 商品強化の施策
 - 読者の行動履歴に基づいたディスプレイ型商品を販売開始
 - アクセスログから購買行動を検知する、新サービス試験運用開始
- ・ メディア強化の施策
 - 「ITmedia Virtual EXPO」を今年も開催
 - 「ITmedia ニュース」にて、クリエイター向けコンテンツ強化

第1四半期会計期間(4~6月)業績比較

(単位: 百万円)



産業テクノロジー分野

◇ 2014年度 第1四半期の事業動向

- ・ 前年比で増収増益
 - － 顧客数・顧客単価ともに伸びて、前年比24%増収
 - － 売上増により、第1四半期からの黒字化を達成
- ・ タイアップ型とターゲティング型商品が好調
 - － タイアップ型商品の売上が前年比52%増加
 - － ターゲティング型商品の売上も前年比41%増加
- ・ メディア力の順調な拡大と新サービス開設
 - － PVは前年比21%増加
 - － 3Dデータ共有サービス「3Dモデラボ」スタート

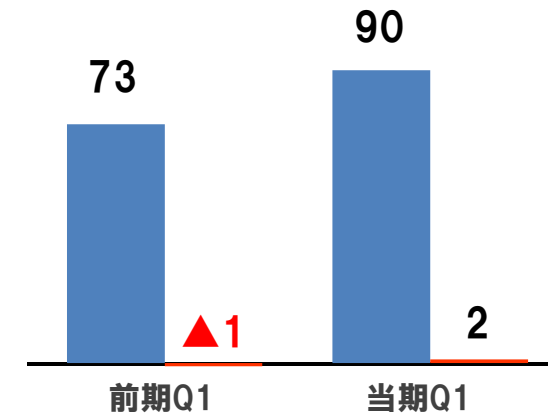
◇ 2014年度 第2四半期以降の施策

- ・ 継続的な売上の拡大
 - － 製造業のオンラインプロモーションの拡大を背景に広告出稿が増加
 - － FA、エネルギーなどメディア領域の広がりに合わせて新規顧客を開拓
- ・ 商品強化の施策
 - － ターゲティング型商品をさらに強化、IT分野で蓄積したノウハウを活用
 - － 業種別・テーマ別の広告企画／セミナーを実施
- ・ メディア強化の施策
 - － 下期を目標に新分野を開拓
 - － 3Dデータ共有の新サービス等で新たな読者層を獲得

第1四半期会計期間(4～6月)業績比較

(単位:百万円)

■ 売上 ■ 営業利益



コンシューマー分野

◇ 2014年度 第1四半期の事業動向

- ・ 前年比で減収減益
 - PC分野、モバイル分野ともに前年割れ
 - 電子書籍分野の「eBook USER」はPV、売上ともに好調
 - ディスプレイ型商品は減少するも、タイアップサイト構築商品は堅調
- ・ 「ねとらぼ」は媒体力、売上ともに大幅に成長
 - ※「ねとらぼ」=ネット上の話題を幅広く紹介するメディア
 - PVは、前年比40%増
 - 売上は、ADネットワークが好調で前年比66%増

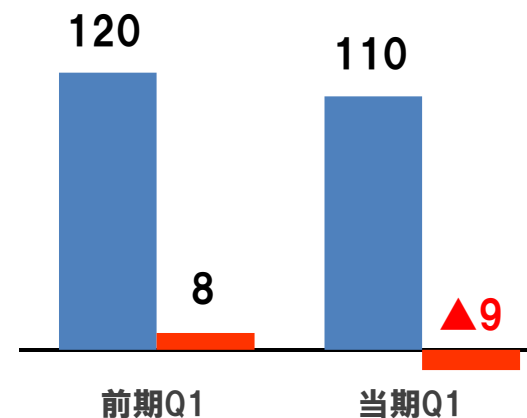
◇ 2014年度 第2四半期以降の施策

- ・ コストコントロールによる黒字回復
- ・ 成長著しい「ねとらぼ」はリソースを投入し、さらに加速
- ・ デジタルガジェット以外の新しい領域を開拓
- ・ 媒体上での動画活用を拡大

第1四半期会計期間(4～6月)業績比較

(単位:百万円)

■ 売上 ■ 営業利益



その他：新事業・新分野の取り組み

● 2014年度 第1四半期の取り組み

- ・スマートフォンからの閲覧および広告販売が順調に拡大
 - PV(スマートフォンビュー)は、前年比54%増
 - 広告売上は、前年比55%増
- ・「ONETOPI」のサービス終了（6月20日発表）
- ・動画を活用したオンラインセミナー商品の販売が好調
 - オンデマンド型に加えて、ライブ型の引き合いが増加

● 2014年度 第2四半期以降の取り組み

- ・スマートフォン向け広告売上を今後も拡大
 - PVの拡大（Yahoo!など外部サービスとの連携強化）
 - スマートフォン向け広告新商品の開発
- ・注目の高まる動画市場への取り組み
 - 広告商品の開発ならびに媒体上での活用
- ・日本最大級のバーチャルエキスポを開催（9月9日～9月30日）





ITmedia Inc.

2014年度 業績予想ならびに中期戦略

2014 年 7 月 28 日

アイティメディア株式会社

証券コード: 2148 東証マザーズ

2014年度 業績予想

(単位:百万円)

第2四半期(累計)	売上	営業利益	経常利益	当期純利益
業績予想	1,350	90	92	60
2013年度実績	1,326	85	87	55
前年との差異	+23(+1.8%)	+4(+5.0%)	+4(+4.7%)	+4(+8.4%)

通期	売上	営業利益	経常利益	当期純利益
業績予想	3,000	380	385	240
2013年度実績	2,890	326	331	202
前年との差異	+109(+3.8%)	+53(+16.5%)	+53(+16.3%)	+37(+18.7%)

※：上記の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

当期の増益予想を踏まえ増配(予定)

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
当期予想 (2014年度)	5円00銭	5円00銭	10円00銭
前期 (2013年度)	4円00銭	4円00銭	8円00銭

中期戦略：3つのイノベーションベクトルによる成長戦略



メディア・ビッグデータによる革新

革新性の追求：リードジェネレーション

- ターゲティング型商品、特に「TechTarget」の高付加価値化
- メンバーシップ基盤強化、キャンペーンマネジメント機能の強化



メディアドメインの拡大

収益力強化：事業領域の拡大

- 「産業テクノロジー」分野の黒字化
- 成功モデルを新たなメディア領域および隣接事業領域に拡張



スマートメディア ビジョンの推進

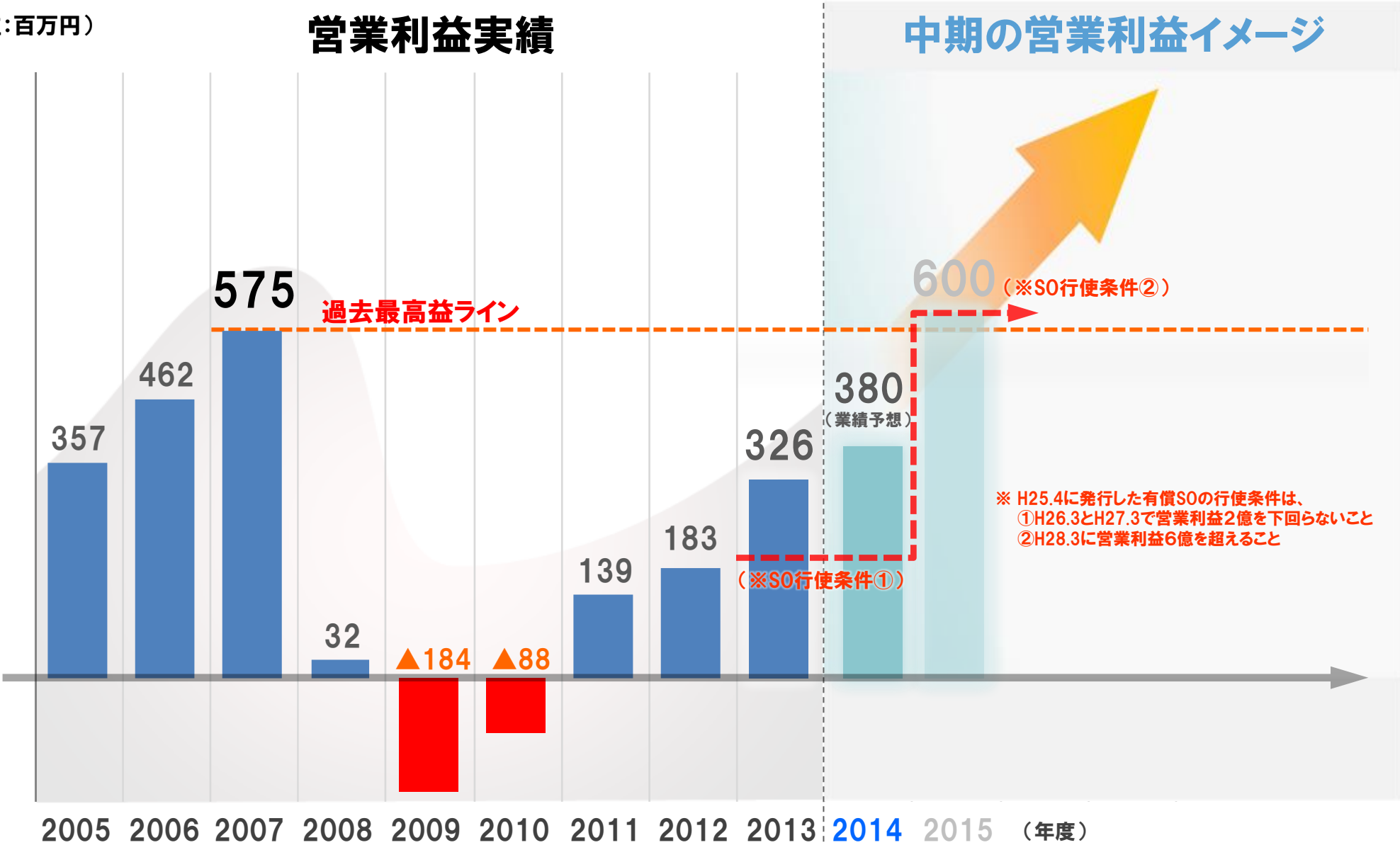
変化への対応：スマートメディア開発

- 情報伝達経路のスマートデバイス化が加速
- 社会のパラダイム変化に適応したメディアモデルを研究開発

中期の営業利益イメージ

(単位:百万円)

営業利益実績





ITmedia Inc.

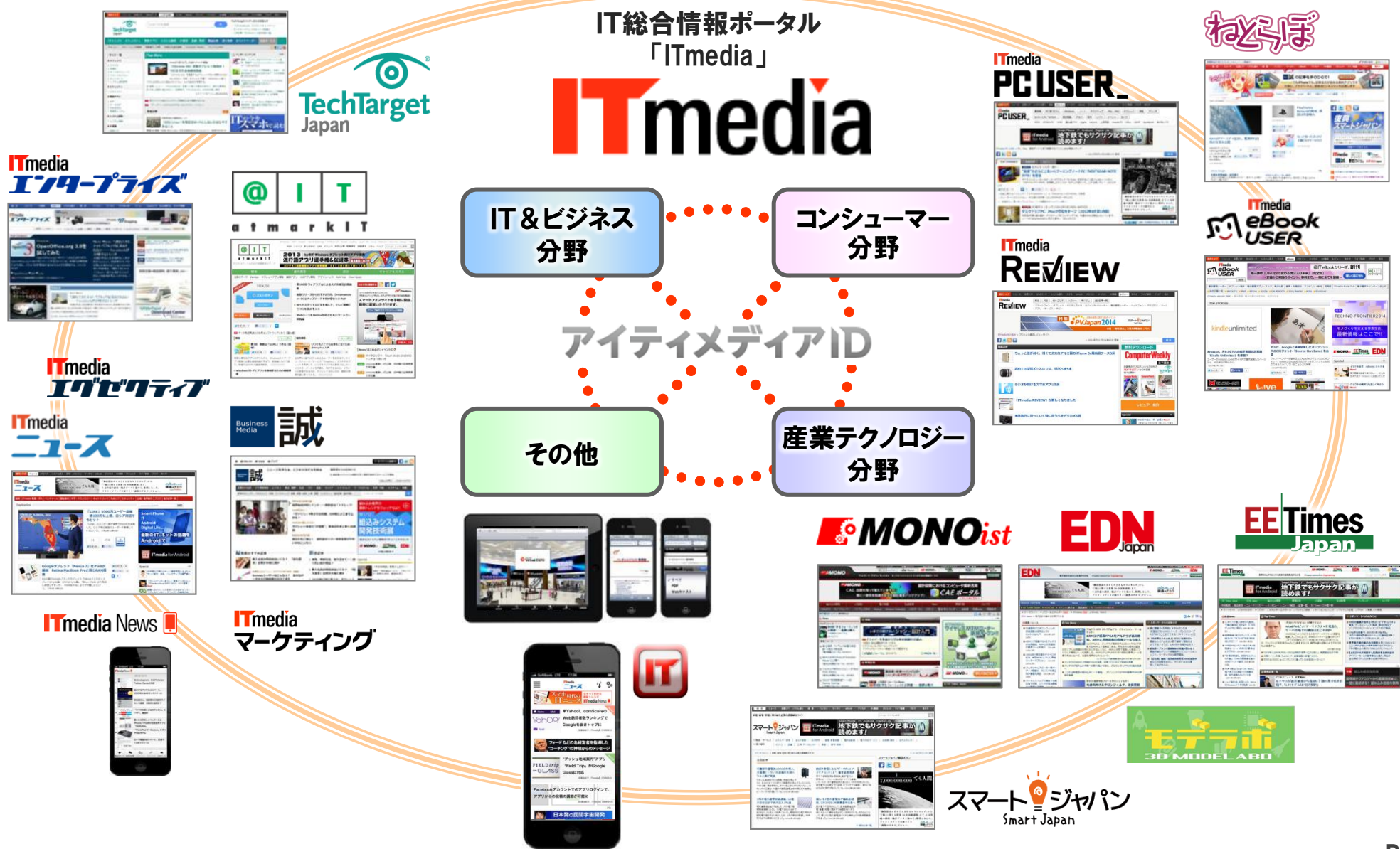
ご参考資料：アイティメディアとは ビジネスモデルおよび会社概要

2014 年 7 月 28 日

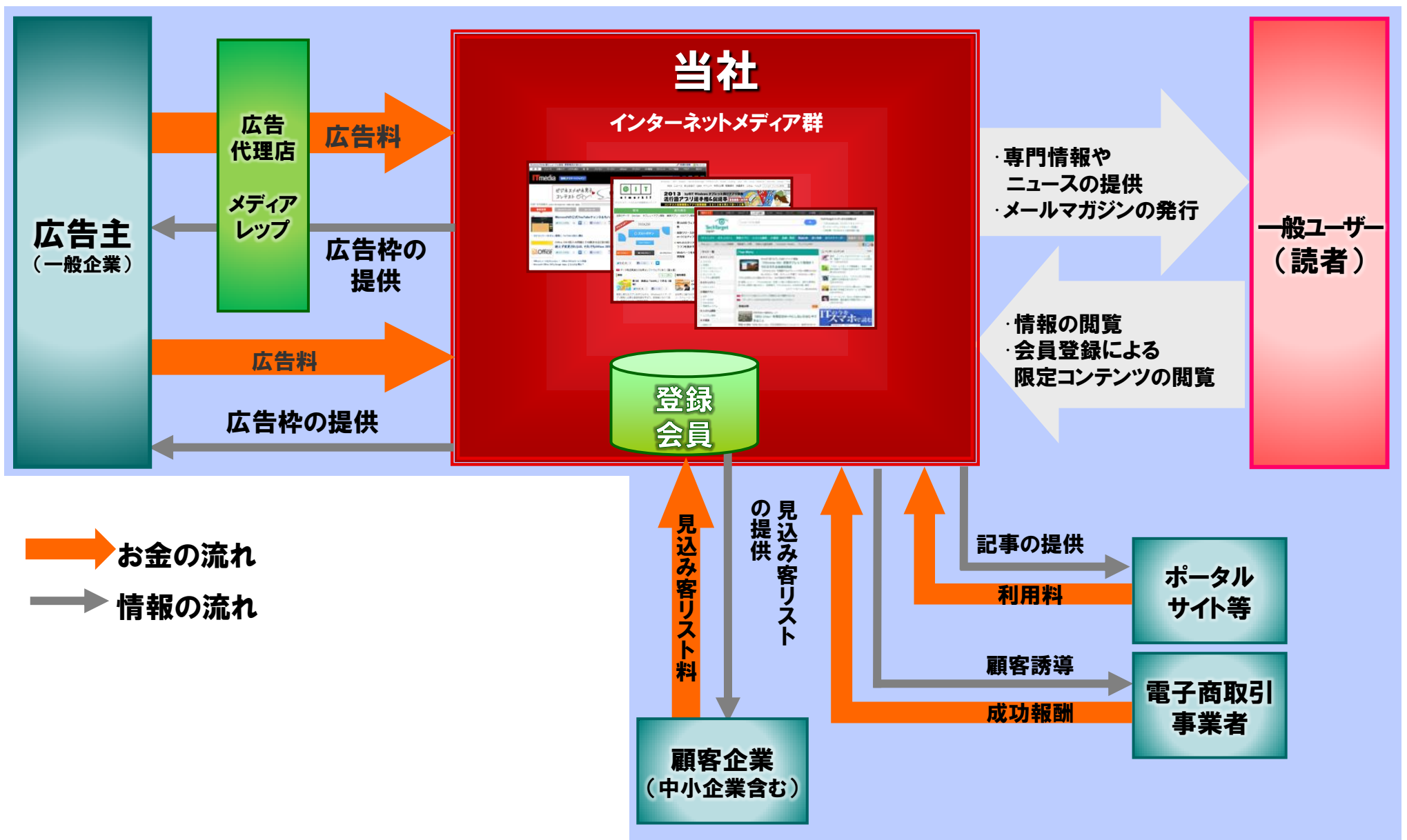
アイティメディア株式会社

証券コード: 2148 東証マザーズ

アイティメディアの運営する主なメディアとサービス



当社のビジネスモデル



メディアの革新を通じて 情報革命を実現し、社会に貢献する

専門性・信頼性の高い情報選択により、
知恵と知識の向上、情報格差の解消に貢献します。

テクノロジーの進化と共にメディア事業を革新し続けます。

社会的知識基盤としての情報コミュニティを提供します。



ITmedia Inc.

会社概要

設立年月日	1999年12月
資本金	16億38百万円（2014年6月30日現在）
代表者	代表取締役社長 大槻 利樹
所在地	東京都港区赤坂8-1-22 赤坂王子ビル
事業内容	インターネット専門メディアの開発と運営
従業員数	183名（2014年6月30日現在）
主要株主	SBメディアホールディングス(株) / ヤフー(株) 他
ホームページ	http://corp.itmedia.co.jp/

テクノロジーとメディアで未来へ